

## 袈裟丸山山行報告

【山行日】2021年5月9日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー2台 : 1,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL大西

安西、植竹、嶋田、島田、関、田村、並木、  
廣瀬、福島、藤原吉田、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P5:00=折場登山口

P6:40/7:00 ~ 賽の河原 8:00/8:10 ~ 小丸

9:00/9:10~前袈裟丸山 10:00/10:10~小丸山

11:20/12:00~賽の河原 12:40/12:50~折場登

山口 13:40/14:00=道の駅「くろほね」14:45/15:00=岩舟支所P16:00

県内有数のアカヤシオの花を求め、弓の手コースから前袈裟丸山を計画した。この時季の折場登山口駐車場は混むので、岩舟支所を5時に出発する。国道50号線を前橋方面に進み、みどり市鹿



交差点を右折し日光市に向かって進む。道の駅「くろほねやまびこ」でトイレを済ませ、沢入から山道に入り折場登山口に着くが駐車場はすでに満車だった。何とか路肩に車を止めて、出発の準備をする。トイレが1つしかないので、女性達はトイレを済ませるのに時間が掛かる。全員揃ったらストレッチを行い、登山口から木の階段を登って行く。新緑の自然林の尾根を登って行き、やがて展望が開けた笹原の尾根に出る。ここからはA班10名とB班4名に分かれて登り、B班はのんびり歩き山頂は目指さない。A班が先行

して歩き、ツツジ平まで登るとアカヤシオの花が見られるようになる。丸太で組んだ展望台を過ぎると、間もなく石積が立ち並び独特の雰囲気漂う賽の河原に着く。

このあたりのアカヤシオは満開で、花を楽しみながら休憩しトマトを食べ水分を補給する。

左前方には前袈裟丸山が望め、新緑とアカヤシオの花に癒されながら爽快に歩いて行く。

雨量計を過ぎるとアカヤシオの花が多くなり、緩やかに下って登り返すと小丸山に着く。日光連

山をはじめ県境尾根の皇海山や庚申山、袈裟丸連峰全てが見え、良い展望台である。ここから

岩交じりの急坂を下って行き、下り切った鞍部に黄色いドーム型の避難小屋がある。ここから笹

の間を登るとダケカンバの純林の尾根を歩き、芽吹いたばかりのダケカンバがとても美しい。



間もなく樹林帯の中の急登になり、ロープや木の根を頼りに登ると笹の緩やかな尾根に出て、緩やかに登ると前袈裟丸山山頂に着く。山頂は一等三角点



が置かれ、南側の展望が開けるが曇って来て眺望はあまり良くない。山頂標識の前で記念写真を撮り、休憩して果物や菓子を食べてエネルギーを補給する。

体を休めたら往路を下山し、B 班との待ち合わせ場所の小丸山に向かう。急坂は慎重に下り、緩やかな尾根に出ると B 班がそこまで登って来ていた。A 班が先行して下り、避難小屋で女性達がトイレ休憩をとる。

ここから一気に小丸山に登り、林の中に陣取ってキノ

コ汁を温めて B 班を待つ。B 班が間もなく到着し、温かいキノコ汁とおにぎりやパンをいただく。

ちくわの変わり揚げやキンピラゴボウ、漬物なども出され、美味しくいただいた、ランチが済んだら下山開始し、全員一緒にアカヤシオの花を楽しみながらのんびり下る。アカヤシオの花も午前中より開いた感じで、アカヤシオの花の多さに驚いていた。



明るく開けた笹の尾根もとても綺麗で、皆さんが「この山は毎年来たいね」と気に入った様子。

折場登山口に到着し、靴を履き替えトイレを済ませたら帰路につく。帰りも道の駅「くろほねやまび

こ」に寄ってお買い物。女性の皆さんは山ウドが気に入ったようで、皆さんウドを抱えて車に戻って来た。皆さんが頑張って歩き下山が30分早かったので、予定より早く岩舟支所に帰着出来た。

